



さいじょう 文芸広場

俳句

横山 容子 選

春愁や能面の瞳の細かりし
渡部喜生

耕人の行きつ戻りつ畝起す
橋本克彦

花は地に還りて人は老けらし
大森妙子

山茶花の咲くこの径は好きな径
菅 正子

白壁に映ゆる芽柳俳画展
森 隆子

路の臺下げて藪より出て来たる
西村郁子

はからずもバレンタインの日の句会
藤本満恵

掛軸に添ふる一と枝藪椿
越智富美子

川柳

金子 一孝 選

愛夫が老父に合わせ遊歩道
高塚フミ子

手を引かれ石段上がる初もうで
加藤千賀子

春なのに出るにすらぬ炬燵番
高塚啓子

真夜中にコーヒー飲んで母偲ぶ
青野洋子

紙籬の楽しさ水に吸い込まれ
三好清信

転けぬようサドル一段低くする
高橋容子

花ごよみめくれば明日の夢運ぶ
神尾 子

脳のゴミ流してくれる川探し
亀田幸子

短歌

藤田 虎雄 選

一番に選挙に行きし初体験 投票箱の中見て
感動 真鍋生朝子

雛人形義母の手作り孫にへと飾り終ふれば娘
を想ひ出す 三好清信

嬉しきは青空仰ぎ悲しみは月を見上げて妣に
言問う 越智幸子

逝きし息よ五月の風になりて来よ あなたの
息子の結婚式に 森田 薫

方言を臆せず言える我が妻は今朝も元気に
「どうならい」と言う 元山 莊一郎

とぼとぼと歩みを運びスパーへ 水煮の鯖
缶すでに売り切れ 三谷福美

春うらら庭に顔出すつくしんぼ 一本二本五
十本数う 坂根祐子

奥祖谷の二重つり橋渡れるも すき間を見下
ろし足腰すくむ 加藤千賀子

■俳句・川柳・短歌 作品募集

作品は、読みやすい書体で作成し、俳句・川柳・短歌の別を書き、漢字にはふりがなを振り、住所・氏名・電話番号を明記し、毎月1日までに郵送または提出してください。

応募先 〒793-8601
明屋敷164 西条市役所
シテイプロモーション推進課 広報係
Tel 0897-52-1204 (直通)

ふるさと産品通信

西条市が全国に誇る産品

はだか麦

■問合せ

市庁舎新館2階 産品価値創造課
TEL0897-52-1380



西条市では5月に、生産量全国1位の「はだか麦」が収穫の時期を迎えます。

はだか麦は大麦の一種で、その名前は脱穀すると皮が簡単に取れることに由来しています。現在、健康食品として大きな注目を浴びているはだか麦ですが、食物繊維は白米の10倍以上もあり、「β-グルカン」という成分には血中コレステロールを下げる働きや、がん予防効果があるといわれています。

昨年度の実産量は愛媛県が全国1位で、香川県、大分県、福岡県が続きます。その中でも西条市は作付面積、生産量において全国1位を誇っています。市内の主な生産地は、旧西条市の西部地域と周桑地域です。当市ではだか麦の生産が盛んなのは、雨量が少なく温暖であるという気候と、作付面積の大きさ、収量に応じて補助が出る制度などの要因が挙げられます。

生産期間は、11月初旬に種まきを行ってから5月中旬・下旬の収穫までの約7カ月です。

はだか麦を使った加工品として、味噌、押し麦、お菓子、麦茶、焼酎などがあります。また現在、市内の民間企業や愛媛大学地域協働センター西条が、はだか麦の機能性を生かした特産品開発の共同研究に取り組むなど、はだか麦を活用した積極的な取り組みが進められています。



▲はだか麦を使った
パウンドケーキ